

原子力関連SCC試験法JIS化委員会の活動

1. 構成

委員長：庄子哲雄（東北大） 他委員 29名

2. 2009年度の活動

- ・ SCC進展試験法、CBB試験法の規格案の作成
- ・ SCC進展試験規格に関するフォーラムの開催
- ・ 委員会の開催（1～2回／年）
 第2回委員会 6月11日
- ・ 分科会の開催
 発生試験分科会 4回開催（3/19, 5/8, 6/11, 11/4）
 進展試験分科会 5回開催（2/13, 4/8, 6/11, 9/2, 10/14）

3. フォーラム

軽水炉水環境中における応力腐食き裂進展試験方法

1. 日時

平成21年7月13日 13:30～17:30

2. 場所

東京体育館 第1会議室

3. 目的

進展試験分科会で作成中のSCC進展試験規格案の概要と技術的根拠について公開の場で説明し、試験規格案の認知を図ると共に規格案をより良いものとするための議論を行う。

4. 講演プログラム(司会 福井工大 柴田 俊夫教授)

1. 軽水炉環境中における応力腐食き裂進展試験規格案作成の経緯(東北大学 庄子哲雄教授)
2. 軽水炉環境中における応力腐食き裂進展試験規格案の概要(株東芝 伊藤 幹郎)
3. 試験片寸法の有効性(BWR)(株日立製作所 青池 聡)
4. 試験片寸法の有効性(PWR)(株原子力安全システム研究所 寺地 巧)
5. 試験結果の評価方法及び有効なき裂進展量(財電力中央研究所 新井 拓)
6. 定期的除荷の条件について(三菱重工業株) 堤 一也)
7. 総合討論(司会 東北大学 庄子教授)

5. 参加者

80名 (プラントメーカー、電力会社、研究機関、大学、試験請負会社、鉄鋼メーカー)